

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
ひたちなか・東海広域事務組合	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;"> 現行の経営 体制を継続 </div>
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

下水道事業の整備は、ほぼ完了しており維持管理を主たる業務としているため、現在の経営体制手法を継続する方向にある。しかし、その一方で現在の経営状況は、ストックマネジメント計画の策定等の費用増加により収支は赤字となっており、今後も、施設更新工事による経費の増加が予想されていることから、経営状況改善のため今後の方向性について、あらためて検討していく必要があると考えている。